

母子部活動報告

7月 親子でハーバリウムづくり
7月 28日（日）11:30～15:00
京都市ひとり親家庭支援センター

夏休みの親子イベントとして「親子でハーバリウムづくり」をしました。各自それぞれにお花や材料を選んでガラス瓶に入れ、オイルに漬け込み完成です。夏休みに親子でとても良い作品ができて楽しんできただけました。

京都キニスクラブ主催 子ども料理教室

8月 25日（日）
於：大阪ガスクリッキングスクール

京都キニスクラブ主催の子ども料理教室の無料ご招待を受け京都市母子寡婦福祉連合会より20名が参加しました。

12月 親子で音楽クリスマス

12月 22日（日）12:00～16:00
京都市ひとり親家庭支援センター

今年は『親子で音楽クリスマス』をテーマに、クリスマス会のオープニングからサニースマイルさんによる演奏をしていただきました。クラリネットやフルートでクリスマスにちなんだ曲や、子どもたちに人気の曲を演奏していただき皆さん楽しく聞いておられました。毎年来ていただいているあそび隊さんによるバルーンアートや下大恵里佳さん指導によるケーキ作りなど親子で楽しんでもらえるプログラムもあり、楽しく過ごしていただけました。



5月 焼きそば体験＆交流会

5月 19日（日）12:00～15:00
京都市ひとり親家庭支援センター

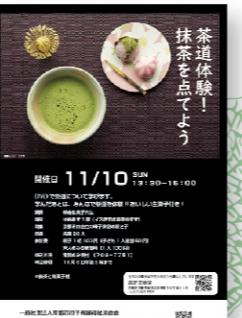
参加者みんなで交流会＆焼きそばを作りました。参加者の皆さんからは、「焼きそばをみんなで作って楽しかったです」「焼きそばがとてもおいしかったです」「交流会もゆっくりと話が出来て良い活動場所でした」など大変好評でした。これからもみんなで交流していきましょう！！



9月 親子で茶道体験

9月 29日（日）13:00～15:00
京都市ひとり親家庭支援センター

日本学生支援機構アドバイザーを招いて2020年から始まる新制度についての説明会を開催。



1月 母子部研修会

1月 19日（日）11:30～
京都市ひとり親家庭支援センター

母子部有志による研修会を開催しました。ゆめあす相談員の方による「就業自立にむけて」「法律相談の活用」など、「就業自立支援センター」についてのお話をいただきました。仕事のこと、将来のこと、悩みは様々ですが活用できるものはどんどん活用し、力にしていきましょう。



快適なオフィスをサポート

We support your comfortable office

近畿オービス株式会社

本社 京都市山科区東野中井上町1番地21
営業本部 TEL(075)591-4425(代) FAX(075)591-4436
山科店 TEL(075)591-4141 FAX(075)591-6257
<http://www.k-obis.co.jp> E-mail: Info@k-obis.co.jp

あご入りふりだし 新パッケージ



商品のご注文・お問い合わせは...
株式会社堀内八郎兵衛
〒564-0011 大阪府吹田市岸部南3-14-4
TEL 0120-88-0791 FAX 06-6382-2734



明治からつづく伝統の味
味噌醸造 卸・小売 関東屋

特選白みそ・田楽味噌・甘酒・柚子味噌・各種味噌・糀

HANAGOYOMI vol.68

花ごよみ

2020年5月1日発行
発行者 / 一般社団法人京都市母子寡婦福祉連合会
会長 横内美佐子
〒606-0846 京都市左京区下鴨北野々神町26
京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす内
TEL/075-708-7751・FAX/075-708-7833



京都市長
門川 大作

京都市母子寡婦福祉連合会の皆様には、日頃から京都における母子家庭や寡婦の皆様の自立支援・福祉の向上に多大の御尽力をいただいております。改めて深く敬意と感謝の意を表します。

さて現在、新型コロナウィルス感染症により世界中が未曾有の危機を迎えております。自然災害や疫病、戦乱など、幾度となく苦難を乗り越えてきた京都にあっても、今回の感染症は大きな脅威となっています。本市といたしましては、市民の皆様の安全と健康の確保を最優先に、あらゆる手段を駆使して対策を進めていくところですが、貴会の皆様はじめ多くの力を集結すれば、この困難も必ず乗り越えることができると確信しています。

本市では、新たに策定した子ども・若者に対する総合的な計画「京都市はぐくみプラン」に基づき、妊娠前から子ども・若者まで一層の「切れ目のない支援」を行っていきます。そして、京都の未来を担う子ども・若者の笑顔にあふれ、「京都で育ってよかった」、「京都で子育てをしたい」、「京都に住み続けたい」と思えるまちづくりを進め、「誰一人取り残さない」温かい社会を創ってまいります。御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会がますます発展されること、並びに貴会の皆様の御健勝と御多幸を祈念いたします。



ごあいさつ

皆様こんにちは。日頃は京都市母子寡婦福祉連合会に対しまして、何かとご支援、ご協力を賜り誠に有難うございます。
本年、思いもよらない新型コロナウイルスにより世界的な規模で感染が拡大する中、京都市においても感染者が日々報告されるなど、危機的な状況となっております。国や京都市におかれても懸命の努力をされているところですが、危険が伴う中、医療機関の皆様方のご奮闘にはひたすら感謝申し上げる次第です。一方で営業自粛などによる業績の悪化による経済的ダメージが拡かり、雇用の安定が揺らいでいる状況も頻繁に耳にしております。ひとり親家庭ではパート就労や派遣就労が多いため、コロナによる影響の直撃を受けている状態であり、持続したくなるにも限界があるため、長期化が何よりも懸念されます。皆様方におかれましても、感染防止のための手洗い、うがい、マスク、外出を控えるなど、できるだけ感染を拡大しない努力に取り組まれていることと存じます。
このような困難な局面の中、連合会におきましても、会員間の情報共有や相談・励まし合いに取り組んでいます。指定管理施設である「京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす」においては、電話相談を中心として皆様からの様々な悩みや疑問にお答えしております。また、学童クラブを運営する児童館3館（葵・住吉・下鳥羽）の先生方も朝からやってくる子どもたちを相手に日々奮闘してくださっています。本当に頭の下がる思いです。一日も早い終息を祈り、また皆様と笑顔でお会いできるようとの想いを胸に、どうかお元気でお過ごしくださいますよう、切に切にお願いいたします。
拙い私ではございますが令和2年度も引き続いて連合会会長として全身全霊で邁進してまいります。
何卒よろしくご協力のほどお願い申し上げまして、新年度のご挨拶といたします。



ほっこりはあと出町

<http://hhdemachi.com/>

「ほっこりはあと出町」は、子育て親子の交流の場として、京都市から委託を受けて、京都市母子寡婦福祉連合会が運営している施設です。

建物は大正時代に建てられたお庭付きの町屋で、古き良き時代の空気が漂うくつろぎの空間です。おもに乳幼児（0～3歳児）のお子さんとその保護者が安心して集まる『つどいの広場』です。開館時間内なら、いつ来ても、いつ帰っても大丈夫！お子さんの生活のペースにあわせて自由に利用できます。主な行事としてお誕生会や、季節を取り入れた行事、近隣の保育所や児童館との共催行事、上京母子寡婦福祉社会による手づくり教室、地域のおばあさんとの「ばあばとあそぼう」があります。また利用されているお母さんやお父さんによる楽しい企画として「英語で遊ぼう」、「音楽あそび」などがあります。更に、多くの方に参加利用してもらえるよう出張広場として『下鴨ほっこりっこ』、『つどいっこ』の2か所で毎月一回ずつ開催しています。いずれの広場でも、常時2名のスタッフが子育てアドバイザーとして、いつも子育ての不安や悩みなどの相談をお受けしています。

今後も、町屋の落ち着いた建物とお庭の空間を生かし、楽しい企画に参加してもらしながら、保護者同士の情報交換の場として、お友だちをみつけたり、子育ての悩みを相談したりしながら、パパ、ママがリラックスでき、赤ちゃんも安心して過ごせる場として、更には、これからパパ、ママになる方も遊びに来てもらえる場所としての利用者皆さまの声に耳を傾けながら、利用者の皆様とともに作り上げていける、親子ともどもにくつろげる子育て支援の場として、より一層充実させていくと取り組んでいます。

（ほっこりはあと出町リーダー 岸本友里恵）



児童館も一緒に、 ひとり親家庭の福祉向上を目指します！

子どもたちの育ちと、子育てをめぐっては、痛々しい出来事が後を絶たず、安心と安全、健全育成、子育て支援の環境を社会的に整備していくには、まだ課題が多くあります。虐待までには至らなくとも、子育てに不安感や孤独感もっておられる保護者は、たくさんおられ、子どもの中にも、自分の気持ちの出し方や、人の気持ちの受け入れが不得手で、家族や友達とのコミュニケーションがうまく取れない子どもたちもたくさんいます。学校や家庭とは異なり、解放的な放課後や学校のない時間に、楽しい遊びや、四季折々の行事があり、さまざまな体験と多くの人のふれあいを通して、社会や人との関わり方のルールを学んでいく、児童館は子どもにとってそんなところです。そして親にとっては、同じ親同士や地域の方々との交流を通じて、子育て仲間をつくり、子育てにやりがいと自信を培えるところです。

当法人は「住吉児童館」「下鳥羽児童館」（ともに伏見区）、「葵児童館」（左京区）の3児童館を運営しています。午前中は乳幼児親子の催し、午後からは学童クラブの小学生たちを中心とした活動があり、中高生が立ち寄る時間もあります。

3児童館それぞれに、ゆめあす・法人との連携を強め、ひとり親家庭への必要な支援を、適確に行えるよう取組んでいきたいと考えています。（葵児童館館長 渡邊 洋子）

一般社団法人京都市母子寡婦福祉連合会 児童館施設理念 「育む・広がる・つながる みんなの児童館」

- 活動を通して子どもたちを健やかに育み、子どもたちの権利を尊重・擁護し、子どもたちの自立を支援します。
- あらゆる事柄を子どもたちの最善の利益に基づいて考えます。
- 地域の子どもも大人も利用しやすい「敷居の低い」施設づくりを目指します。
- 子育ての仲間を広げ、子育て家庭を支援し、子育ての社会連帯を促進します。
- つながりを大切にする地域社会を、地域の方々との連携を図る中で創造し、共生の街づくりを推進します。

近畿母子寡婦福祉大会への思い

今年は京都市が当番県でもあり、令和元年7月7日（日）ホテルオークラにて開催されました。オープニングでは京都の夏にちなんだ祇園祭の「鷹山囃し方」による演奏、また、交流会では「ミュージックアンサンブルVIVO」による演奏と歌。それから、近畿各地から大勢の方が会場いっぱいにお越しくださいました。シンポジウムでは各地区の代表の方が色々発表されて、1人ひとり様々な経験をされて、資格も取られて、子どもを育てながら懸命に努力されていることを知り、励まされる思いがしました。私も今は連合会の理事として活動させていただいているが、息子が4歳、娘が3歳の時に主人と死別して、その時結婚5年足らずで29歳でした。2人の子供を育てていかなければならぬ、家を守っていかなければならない、そんな思いで頭の中が真白になりました。でも、働き口を探して一生懸命働きました。子どもも一年一年たくましくなり、私がひとりで働いている様子を見ててくれたのか、色々と助けてくれました。親子で隠し事はしない、親子の信頼感を大切にしたい、とこれだけを思ながら頑張り続けました。今は娘も家庭を持ち、息子は東京で仕事を頑張っています。私も今の職場で、店名は途中で変わりましたが40年間働き続けています。

私の楽しみは孫と娘と出かけることが一番の楽しみです。全国統一テーマの「つなぐ人の輪・守ろう地域の輪」のもとに集い、自分たちの地域における活動に活かせるように、私たちが応えていかなければならぬと思っています。

交流会では近畿の各所から参加していただいた方々と同じテーブルに座り、食事をしながら地元のお話を聞かせていただいたり楽しい交流会となりました。来年は神戸市さまが当番市で、たまたま神戸市の方と私のテーブルが同じだったので「今度は是非神戸へお越しください、お待ちしています。」と言っていただきました。開催にあたり下準備が大変でしたが、京都市の職員の方々のご協力にも支えられ、児童館の先生方、事務局の方、そしてスタッフみんなで力を合わせて無事、会を終えられたことは本当に良かったと思います。皆様ありがとうございました。お疲れ様でした。



2019/12/8・12/15・12/22（日）

読売光と愛の事業団助成事業 パソコン会計講座（参加15名）

今年度も読売光と愛の事業団様より助成いただき、全3回のパソコン会計講座を実施いたしました。皆さんスキルアップのため熱心に受講されました。

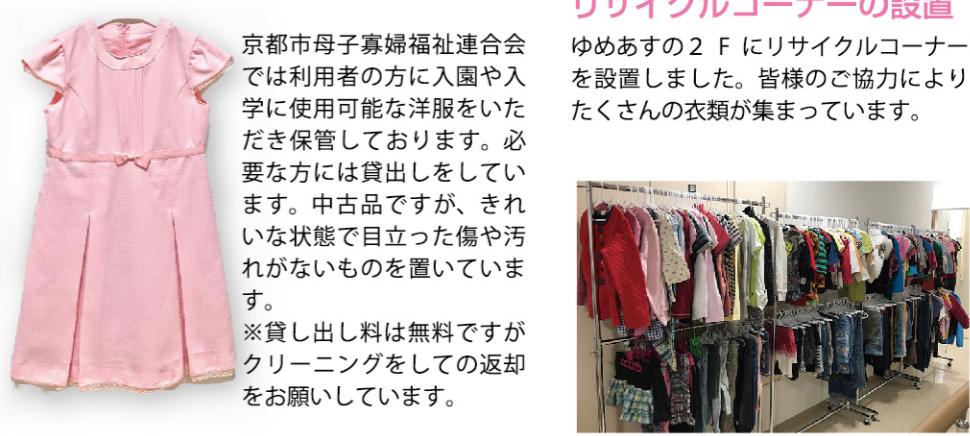
2020/4/12 開催

無料人間ドック（参加21名）

医療法人創健会西村診療所様のご厚意により、健康診断を受ける機会が少ない母子家庭の母および寡婦の方々のため、毎年無料人間ドックを実施しています。

子ども式服貸し出し

京都市母子寡婦福祉連合会では利用者の方に入園や入学に使用可能な洋服をいただき保管しております。必要な方には貸出しをしています。中古品ですが、きれいな状態で目立った傷や汚れがないものを置いています。※貸し出し料は無料ですがクリーニングをしての返却をお願いしています。



子ども服等 リサイクルコーナーの設置

ゆめあすの2Fにリサイクルコーナーを設置しました。皆様のご協力によりたくさんの衣類が集まっています。